

4月1日より復興庁からの支援員として**山中啓稔**さんがいわき事務所復興推進課に勤務しています。



この4月より、支援員として復興推進課に配属になりました山中啓稔（やまなか ひろとし）と申します。復興まちづくり長期ビジョン・新規復興産業構想などを担当いたします。

福岡県出身で、これまでは民間企業で勤務してきました。震災は東京の事務所にて経験その後の一年間、主に宮城県で被災した社内の営業拠点の支援をする中で、東北の皆さまが、我々応援者に対して逆に温かい気遣いをされることに感激し、その後も何かできることはないかを模索していました。そうした中、今回の支援業務の応募があり、特に状況が厳しいとお聞きしていた双葉郡での勤務を希望し、縁あって御町にて勤務することとなりました。

原発事故の収束対応自体は、

双葉町各種支援員の紹介

4月1日より復興支援員として**飯嶋麻里**さんが勤務しています。



4月より、双葉町復興支援員として、埼玉県加須市にて

勤務することになりました、飯嶋麻里（いじま まり）と申します。東京都小金井市出身で、前職では、介護保険制度や障害者自立支援法のもと、ベッドや車いす等の福祉用具の貸与・販売、住宅改修を提案する仕事をしておりました。

震災後、毎年被災地3県を訪れていたことや仕事をする中で、避難されてきた方との出会いも多く、復興に係わり

たい気持ちが強くなり支援員に応募いたしました。学生時代から地域のつながりに関心があつたこともあり、地域コミュニティの再生に少しでもお力になればと思います。1人でも多くの方のお話を伺いたいなと思っておりますので、フットワーク軽く飛び回り、みなさんのつながりを広げるお手伝いができるように一杯活動したいです。見かけた際には、お声かけください。これから、どうぞよろしくお願いたします。

浪江消防署からのお知らせ 「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」

火災予防思想をより広く普及させることを目的に、平成26年度全国統一防火標語の募集が行われ、その結果、全国から30,120点にのぼる作品が寄せられ、「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」が選ばれました。この標語を元に防火意識の高揚、普及啓発を図っていきます。皆さまのご家庭や職場においても火の元には十分注意してください。

山火事用心！ 火の用心！

春を迎え暖かくなるにつれ、山へ入る機会も多くなることと思います。この季節の山では、枯葉や枯草が多くなることに加えて、空気の乾燥などの気象条件により林野火災発生の危険性が高くなります。

森林はきれいな空気を生み出し、水を貯えるなどの機能がありますが、山火事は貴重な森林を一瞬のうちに焼失させる災害です。

山火事・野火の多くは人災で、たき火やたばこの投げ捨てなどが主な原因です。一人ひとりが気をつければ防ぐことのできる災害なのです。

【問い合わせ先】

浪江消防署・富岡消防署 川内出張所
☎ 0240-38-2119